

IDL 8.7 SP 1 リリースノート

Note

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/IDL.aspx>

これらリリースノートは次の項目に分かれています。

- IDL8.7 SP 1 のサポートプラットフォーム
- IDL8.7 SP 1 の新機能
- IDL8.7 SP 1 既知の問題
- IDL8.7 SP 1 で修正された問題

IDL8.7 SP 1 のサポートプラットフォーム

IDL8.7 SP 1 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。

これからソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン ^b
Windows	Intel / AMD 64-bit ^a	Windows	8, 10
Macintosh	Intel 64-bit	OS X	10.11, 10.12 ^c
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 2.6.32 glibc 2.12

a: IDL8.5 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの IDL を起動する場合は、「ENVI5.5/IDL8.7 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI/IDL の起動方法」をご確認ください。

b: サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されます。なお、記載のバージョンとバイナリ互換のある環境（例えば、UNIX の Kernel 3.10.0 など）であれば ENVI / IDL のインストールおよび実行が可能であることを確認しております。

c: Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.7.11 にて動作確認されています。

ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー（Flexnet License Server）を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
DISK	500MB
RAM	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

サードパーティのソフトウェアに対するサポート

- 2019年3月を以て、Python 自体が Version 3.4 のサポートを終了いたします。それに伴い、IDL でも今後 Python 3.4 のサポートを終了いたします。Python のブランチに関するステータスは次のウェブサイトをご確認ください。

<https://devguide.python.org/#status-of-python-branches>

- IDL_DrawX3.ocx Draw Widget ActiveX コントロールコンポーネントが廃止されます。これは、IDL7 で非推奨に設定されていた項目です。

IDL8.7 SP 1 の新機能

詳細は以下のページをご参照ください。

<http://www.harrisgeospatial.com/docs/WhatsNew.html>

IDL8.7 SP 1 の既知の問題

問題が起こった際は、リリースノートの既知の問題を参照してください。ID 番号はお客様からのお問い合わせに早急に対応できるよう記されています。

ID	解 説
IDL-69803	Tab または Enter キーを使用しなければ widget_table の value を取得できない。
IDL-69858	英語でない言語設定で IDL ワークベンチを Mac OS 10.13(High Sierra)上で起動したとき、ワークベンチのすべてのメニューがグレイアウトしてしまい、メニューが使用できない。詳細は以下の URL を参照。 https://www.eclipse.org/org/press-release/20170925criticalbug.php
IDL-69873	Linux-BASH が有効な Windows10 マシン上で管理者以外が IDL ワークベンチ(64 ビット)を起動した場合、起動に失敗する(「応答していません」となって、ハングする)。また、IDL コンソールには情報がロードされない。
IDL-69919	LIST::ADD が原因となって、IDL8.6.1 以前のバージョンでビルドされた sav ファイルが不具合を起こす。ユーザが IDL8.7 を使用し、古い IDL のバージョンで作成された list_define を含んだ sav ファイルをロードした際にこの現象は起こる。
IDL-70097	Mac OS X 10.13 以降のマシンにおいて、ASSOC 関数のパフォーマンスが明らかに遅い。
IDL-70142	Mac OS X 10.13.4 または 10.13.5 の一部のマシンにおいて、IDL ワークベンチのエディタで 15 行以上ハイライトするとクラッシュする不具合が報告されている。
IDL-70161	ENVI+IDL を起動し、コマンドラインから FULL_RESET を実行したのちに改めて ENVI を起動すると IDL がクラッシュする。 回避策： FULL_RESET ではなく .reset コマンドを使用する。また、シャットダウンしたのちに改めて IDL を再起動する。

IDL8.7 SP 1 で修正された問題

ID	解 説
IDL-69561	Windows10 システムで発生していた PLOT 関数を保存する際の、軸ラベルの文字が黒い四角になる現象を修正。
IDL-69851	.COMPILE の-V オプションについて文書化がされていなかった。
IDL-69870	最新の Windows 10 アップデートによって、IDL グラフィックテキストの保存がうまくいかなくなるという不具合があった。これは 2017 年 10 月 18 日リリースの Windows 10 Version 1709 のアップデートが原因で起きているものだった。
IDL-69931	Mac OS X 10.13.2 と最新の Anaconda 3 の組み合わせでは Python to IDL Bridge が使用できなかった。
IDL-70099	BOXPLOT 関数の WIDTH キーワードの記載に誤りがあった。
IDL-70167	LABEL キーワードへ文字列配列を指定すると LEGEND 関数がエラーを引き起こした。